

# 狭山事件の再審を求める東三河の会 第4回総会 報告

2020.7.24 アイプラザ豊橋203会議室 参加8名

<代表あいさつ> 略

<第1号議案>

2019年度活動報告と2020年度活動方針

〇2019活動報告

- 4月10日 狭山定例会議 参加5名
- 4月14日 狭山ニュース31号発行
- 4月17日 ちらし 親子劇場300部 愛高教100部
- 4月21日 東三河9条の会 ちらし 600部
- 4月29日 命の音楽会 ちらし 400部
- 6月1日 被ばく牛と生きる上映会 250部
- 6月12日 総会 参加9名 アイプラザ豊橋
- 7月15日 狭山街宣 寺澤さん参加 リーフレット120部 署名10筆 参加者6名
- 8月3日 豊川事件総会参加2名 獄友ちらし50部 映画の宣伝をする
- 9月28日 「獄友」試写会 5人参加
- 10月3日 「獄友」試写会2回目 5人参加
- 10月16日 部落解放全国研究集会(名古屋)参加 狭山カフェ・スケッチブック・獄友宣伝
- 11月10日 天竜林業再審を求める集会 3人参加 連帯アピール
- 11月23日 獄友上映 袴田・狭山(関西)・豊川・天竜事件アピール 約200人
- 11月24日 浜松袴田集会 2人参加 連帯アピール
- 12月 親子劇場・愛高教チラシ入れ
- 12月21日 獄友交流+狭山定例会 参加8名
- 1月11日 松元ヒロライブにチラシ入れ
- 1月24日 狭山街宣・会議5名参加
- 2月12日 狭山カフェ 「優友の会」勢川牟呂店 参加10名
- 2月21日 定例会議 6名参加 桜井さんをお呼びするイベント決定
- 2月24日 狭山の再審を求める関西の集いに参加。
- 3月23日 再審法改正を求める陳述 狭山定例会議4名参加

## 2019活動方針の反省 ★が反省 論議したことは赤字

①狭山事件と石川一雄さんの無実を知っている東三河の人を広める。

そのために、狭山ニュースの読者、会員を増やしていく。

会員獲得の「柱」をつくる。(脱マンネリ!)

- ・なぜ狭山に取り組む必要があるか理論と熱意で訴える。「人権」「司法」「正義」「冤罪・再審」
- ・狭山の会に来ると「成長できる」「いいことがある」「楽しい」などの活動に内容を持たせる。  
(学習会、他団体=袴田事件・天竜事件・豊川事件との交流、レクリエーション)
- ・「下山鑑定」を無罪宣伝の中心に据える。
- ・後藤眞理子裁判長へのハガキや手紙などによる働きかけを強めて勝利の展望を持つ。
- ・狭山ニュースの配布や会費の徴収を名簿をもとに確実にを行う。

★狭山ニュースの配布は各集会をはじめかなりできたと思う。下山鑑定など「柱」になるような訴えもできたと思う。他団体との交流も一定程度できた。後藤眞理子裁判長へのハガキ活動も個人的ではあるができた。

一方、狭山の会に来ると「成長できる」「いいことがある」「楽しい」など、運動の質や「人とのつながり」は不十分だったと思う。課題。

②狭山カフェを引き続き開催し、新しい狭山の理解者を増やしていく。DVDの積極的な活用をする。

カフェが開けそうな人・DVDの貸し出しができそうな人への積極的な声かけをしていく。

現在開きたいと思っているところ・幸田駅前書店／自習室「Talk」／Hさん宅／蒲郡など

★幸田駅前書店、岡崎「朝活」グループ、「優友の会」グループで狭山カフェを実施。今後はなかなか難しい。

③11月「獄友」上映会。

1) チケットの扱いは、前売り・当日券・当日精算券と分けた。

2) 政治団体に限らず、あらゆるつてを利用して、狭山・イベント・チケットの声かけをした。

趣味のサークル、友人・同級生、お寺・教会など宗教団体、うたの学校、演劇サークル、友好団体をつくる。

宗教者、ユニオンなど労働組合。ちらしを配るだけでなく、チケット前売りまで持っていく。

3) メディアの協力を得る。

4) 10月、部落解放全国研究集会在名古屋で集会在開かれ、その狭山部会で「狭山カフェ」の報告をすした。

「獄友」を名古屋でも上映してもらおうという考えは断念。

★2回公演で160名ほどに来ていただいた。組織的な参加はなく、「友好団体」はできなかったが、個人的なつながりを生かし、新しい人を含め、いろいろな人に見に来てもらえたと思う。スタッフも何とか集めることができた。関西キャラバンなど多くの団体と連携できた。中日新聞社の酒井記者は金監督に取材し、写真入りの記事を書いてくれ、広報に役立ったと思う。感謝したい。

#### ☆質疑

・新裁判長はこれまでどんな判決を出してきた人なのか。

・東京高裁に来るような人は、出世コースに乗っていると言えるので、政権よりの人だろう。

#### ○2020活動方針

①狭山事件と石川一雄さんの無実を知っている東三河の人を広める。

そのために、狭山ニュースの読者、会員を増やしていく。会員獲得の「柱」をつくる。

・なぜ狭山に取り組む必要があるか理論と熱意で訴える。「人権」「司法」「正義」「冤罪・再審」

・狭山の会に来ると「成長できる」「いいことがある」「楽しい」などの活動に内容を持たせる。

(学習会、他団体＝袴田事件・天竜事件・豊川事件との交流、レクリエーションなど)

・裁判長へのハガキや手紙などによる働きかけを強めて勝利の展望を持つ。

・狭山ニュースの配布や会費の徴収を名簿をもとに確実に行う。

・「狭山と私」など地域に密着した記事の再開を模索する。

②狭山カフェを引き続き開催し、新しい狭山の理解者を増やしていく。

カフェが開けそうな人・DVDの貸し出しができそうな人への積極的な声かけをしていく。

③会議と街宣を1か月ごとに行う。

④9月のイベントの成功に向けて。コロナ感染予防の意味から来年以降に延期決定。以下のことは論議せず。

参考として載せておきます。(青字)

1) チケットの扱いをどうするか。豊川堂以外は当日払いとする。前払いをした人には当日対応する。

2) 政治団体に限らず、あらゆるチャンネルを活かして、イベントへの参加を呼び掛ける。

3) メディアの協力を得る。

新聞社、FM豊橋

4) コロナ対策として

・入場者125名まで、机を入れず、分散した席の配置。

・入場者全員に連絡先(電話番号)を書いてもらう。

- ・アルコール消毒液の用意、マスクの着用（忘れた人の分を用意）
- ・マイクや筆記用具など、除菌ガーゼでこまめに除菌。
- ・筆記用具 ボールペン100本1459円（楽天・送料無料）200本 2818円  
下敷きの代わりにクリヤファイル 120枚 100円ショップで1200円+税  
入り口で配る 自分しか触らないように
- ・コロナを理由にして会場のキャンセル料は取られず、全額返還されました。

☆質疑

- ・「狭山と私」を冊子にして、「狭山カフェ」など適切な人たちに配り、活用する。すでに広報担当者が試作。今後とも、「狭山と私」シリーズの執筆者を探す。
- ・狭山の捉え方として、「えん罪」から入ってすそ野を広げる。学習会をして、部落問題や裁判制度など詳しく理解できるようにする。
- ・「狭山カフェ」を開催できるように、①自分の周辺での声かけ②狭山についての自分の知識を広める。
- ・再審がなかなか開かないのは、日本の政治に根本的な問題がある。イベントに力を入れても「えん罪でかわいそう」で終わっては、根本問題の解決にはつながらない。えん罪の加害者である警察・検察・司法を処罰するところまで視野に入れた運動が求められる。そのためには政治を変える必要がある。
- ・確かに政治を変える必要がある。しかし、政治が変わるまで待つのではなく、一つ一つの運動で勝利めざして闘うことも大事だ。湖東病院呼吸器事件でも再審無罪を勝ち取ったし、ハンセン病家族訴訟でもいい判決を勝ち取った。個々の運動（の勝利）によって、問題が人々に共有され、政治が変わることにつながると思う。
- ・再審法改正請願が茨城県かすみがうら市議会で採択された。再審法改正の運動はできれば国民救援会と共に。

＜第2号議案別紙＞

会計報告・予算案 承認されました。

＜第3号議案＞

2020年度役員選出（会則の改正含む）

※決定事項 ①共同代表制 ②会計監査は1名 ③副部長は置かない ④部長制は無理のない範囲で

共同代表（2名）・・・ 牧野弘済 山崎和男  
 会計（1名）・・・ 藤本政男  
 会計監査（1名）・・・ 宮下喜夫  
 部長 広報・HP・・・ 金田徹郎  
 事務局・・・ 山崎和男

次回 9月5日（土）10：00～ アイプラザ203会議室